

別記様式

令和3年度学校評価報告書

令和4年3月22日

北海道教育委員会教育長 様

北海道東川高等学校長 水 澤 弘 幸

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

◎学校の特色を明確にし、生徒一人ひとりの個性を生かす、創意あふれる教育実践を推進する。 (1)地域の理解と協力を得、地域を活用した探究活動を計画し、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (2)校訓や学校教育目標、東川mindの浸透を図り、一人ひとりの可能性を高める実践を推進する。 (3)教職員の連携・協働・共有と、分担意識の高揚により、ワークライフバランスの向上を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・基礎学力の定着・学力向上、及び生徒が意欲的に学ぶことができるよう、分かる授業を行い、指導方法等の工夫改善に取り組んだ。	・引き続き生徒、保護者の期待に応えられるよう希望する。
改善方策	生徒の実態に応じた授業づくりを推進し、主体的な学びの姿勢を育成するための工夫を行う。	
生徒指導	・他を思いやり、尊重する意識を高める指導が定着し、いじめの未然防止に成果を見せた。さらに、基本的生活習慣の確立に向け、主体的な行動ができるように適切な指導に取り組む。	・当初の目標をおおむね達成している。引き続き各活動の推進を希望する。
改善方策	コロナ禍の制限がある中で、実施方法を検討し生徒に様々な経験を積ませていく。	
進路指導	・進路決定率100%を達成することができた。多岐にわたる生徒の進路希望実現に向けて、キャリア教育をより一層充実させる。	・東川高校の特色である福祉・介護教育への取組を充実させることや、キャリア教育を一層充実させることを希望する。
改善方策	将来を見据えた進路指導を実践し、キャリア教育の充実を図る。	
健康安全指導	・教育局との連携によるステップアッププログラムの活用により、いじめの未然防止や友人との好ましい人間関係の構築に向けて、一定の成果を上げることができた。	・当初の目的を達成している。生徒たちの変容が伝わるように、情報発信することを希望する。
改善方策	引き続き、様々な領域で安心・安全な学校づくりを推進する。	
公表方法	学校ホームページで公表する。	

- 3 添付資料 (1) 令和3年度北海道東川高等学校学校自己評価及び学校関係者評価
(2) 令和3年度 学校評価アンケート(教職員&PTA)